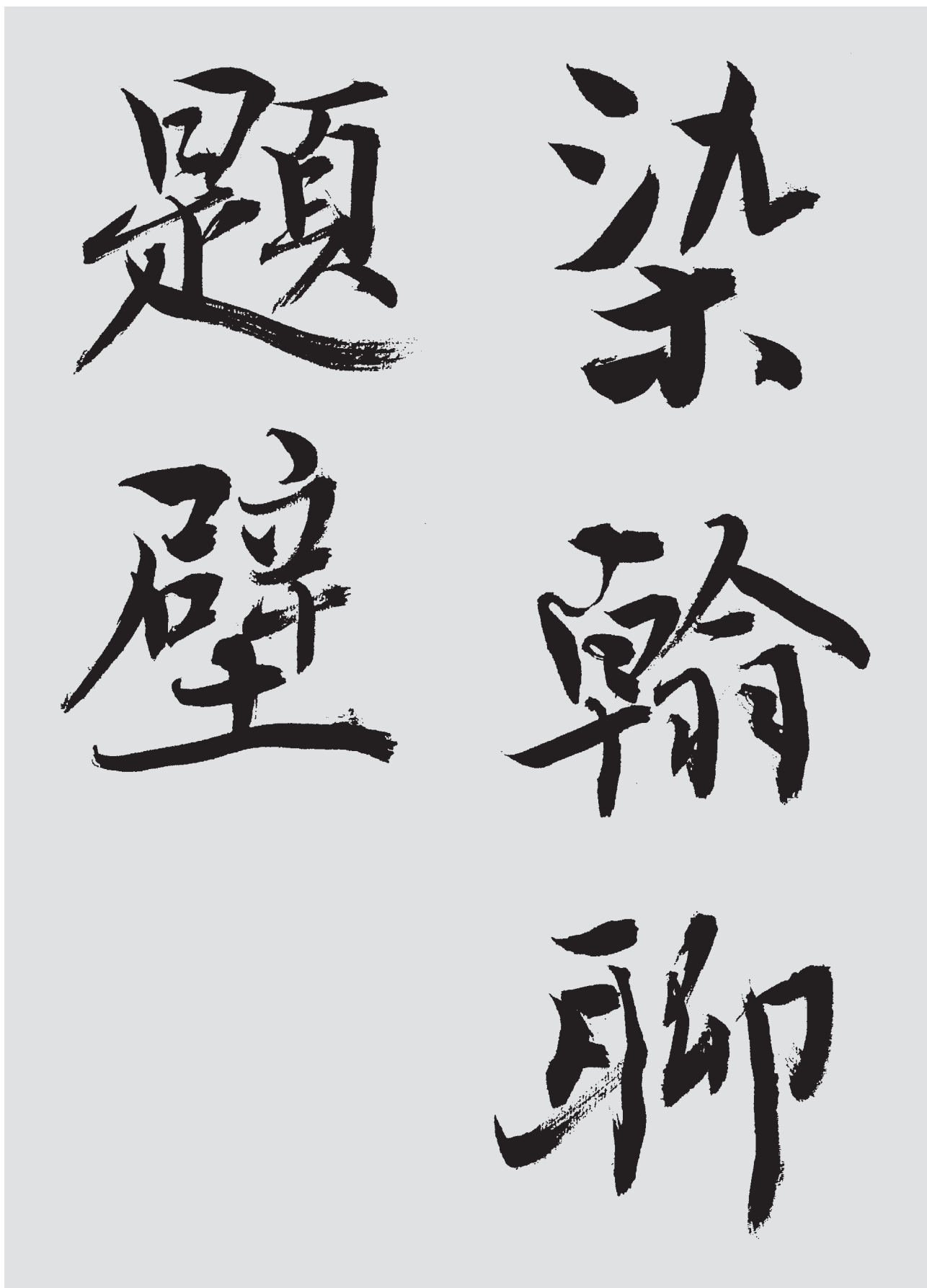


参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

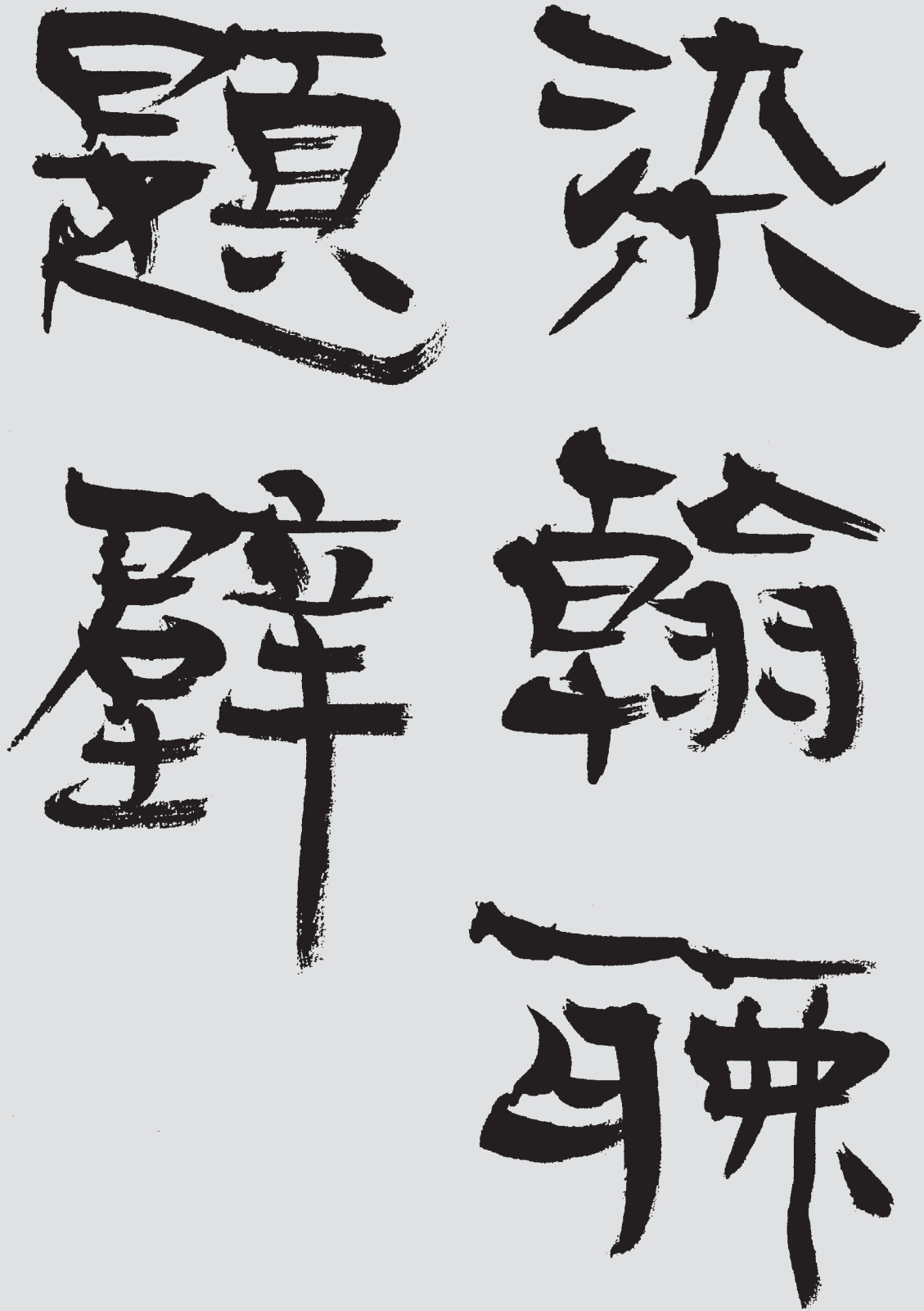


翰かんを染そめて 聊いさかへき壁たいに題だいす

高 木 聖 雨 先 生

参 考 手 本

翰かんを染そめて 聊いささか壁かへきに題だいす



※これは規定課題ではありません。

高 木 聖 雨 先 生

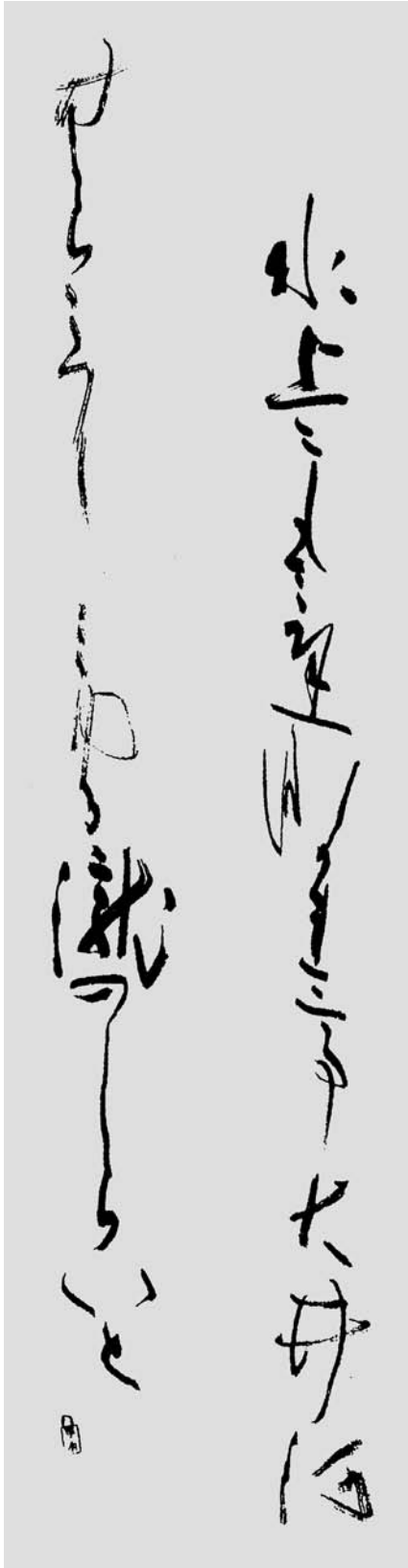
条幅かな

条幅規定

C部 (二段以下)

A部 (準五段以上)
B部 (四段~準三段)

水上にもみちながれて大井河むらごにみゆる滝の白いと (藤原頼宗)



※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。

前後赤壁賦 (元・趙孟頫)

山川不可復復矣余乃攝衣而上履巉巖披

浮 乘 清 郷 先 生



道因法師碑 (唐・歐陽 通)

右是曰隩區遠接荆舒近邛犍邑居隱軫人



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(11月10日締切)

半紙規定 (一)

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)



龍宮龜圖

清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書
〔二級以下〕楷書

雲氏龍宮、
龜図鳳紀、

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(11月10日締切)

半紙規定(二)

曹全碑(漢・作者不詳)

舉 祖
孝 父
敏

祖父敏舉孝

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

高祖父敏は、孝廉に挙げられ、

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(11月10日締切)

条幅参考手本

静坐月明中
 孤吟破清冷
 隔溪老鶴來
 踏碎梅花影

江雲書

青柳江雲先生

静坐月明中 孤吟破清冷 隔溪老鶴來 踏碎梅花影
 静かに坐す月明の中 孤吟清冷を破る 溪を隔てて老鶴来り 梅花の影を踏碎す

中村草苑先生

返照閨巷
 憂来誰共語
 古道少人行
 秋風動禾黍

返照閨巷に入る 憂い来たるも誰と共にか語らん 古道人の行くこと少に 秋風禾黍を動かす

本 手 考 参 幅 条

小柳 琅泉 先生

落日松風起 還家草露稀
 雲光侵履跡 山翠拂人衣

落日松風起 還家草露稀 雲光侵履跡 山翠拂人衣
 落日松風起 家に還れば草露稀なり 雲まの光は履跡に侵いり 山の(草木の)翠は人の衣を払う

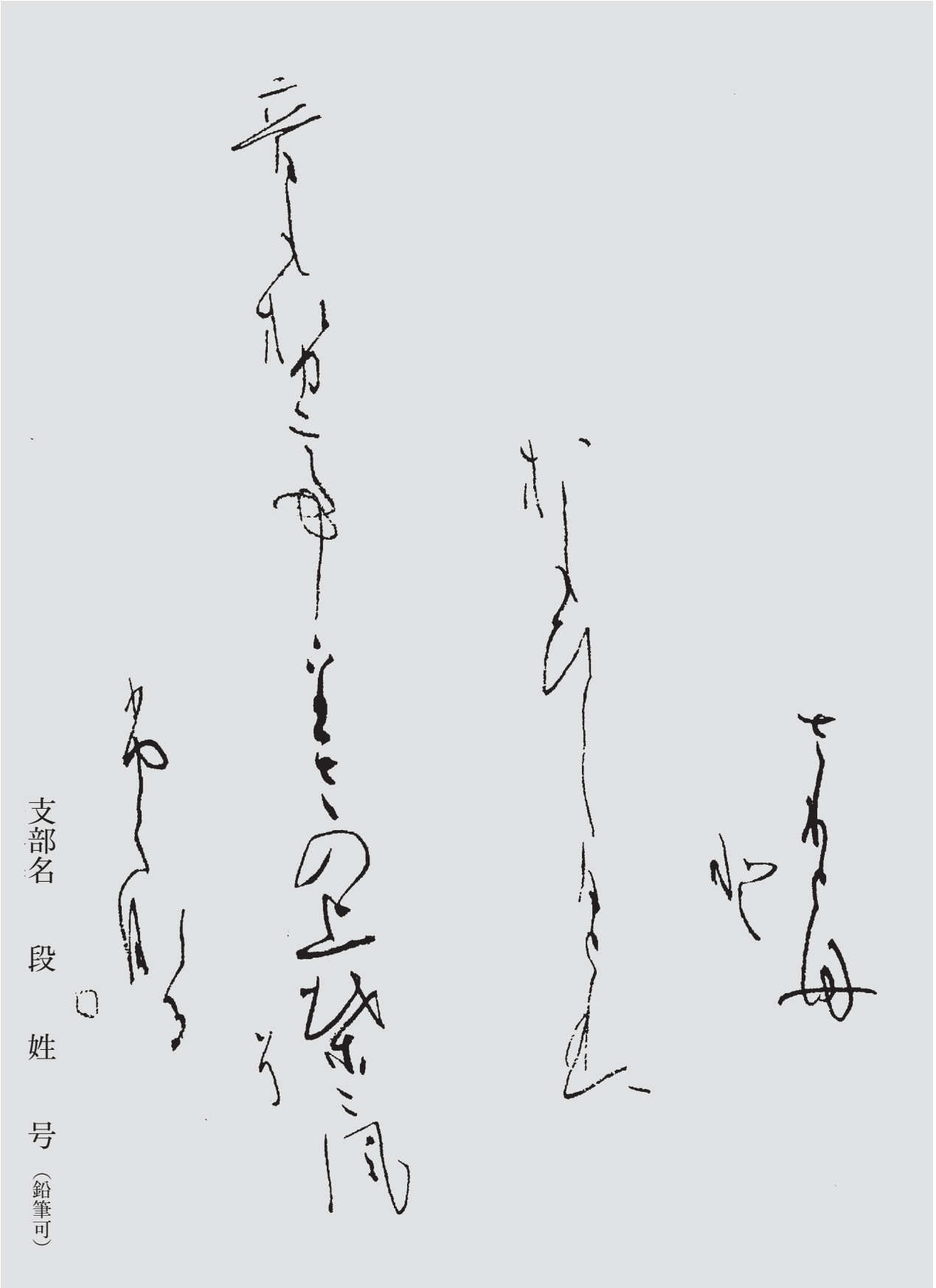
大井 岳陵 先生

滝の音は、いとどもの思ふ人を驚かし顔に耳かしがま
 しくとどるま響と草むらの虫のみぞよりどころなげに
 鳴き弱りて枯れたる草の下より

滝の音は、いとどもの思ふ人を驚かし顔に耳かしがましようどころき響く。草むらの虫のみぞよりどころなげに鳴き弱りて、枯れたる草の下より

半紙かな（初段以上）

さりともと思ひし人は音もせて萩の上葉に風ぞふくなる（三条小右近）



支部名 段 姓 号（鉛筆可）

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

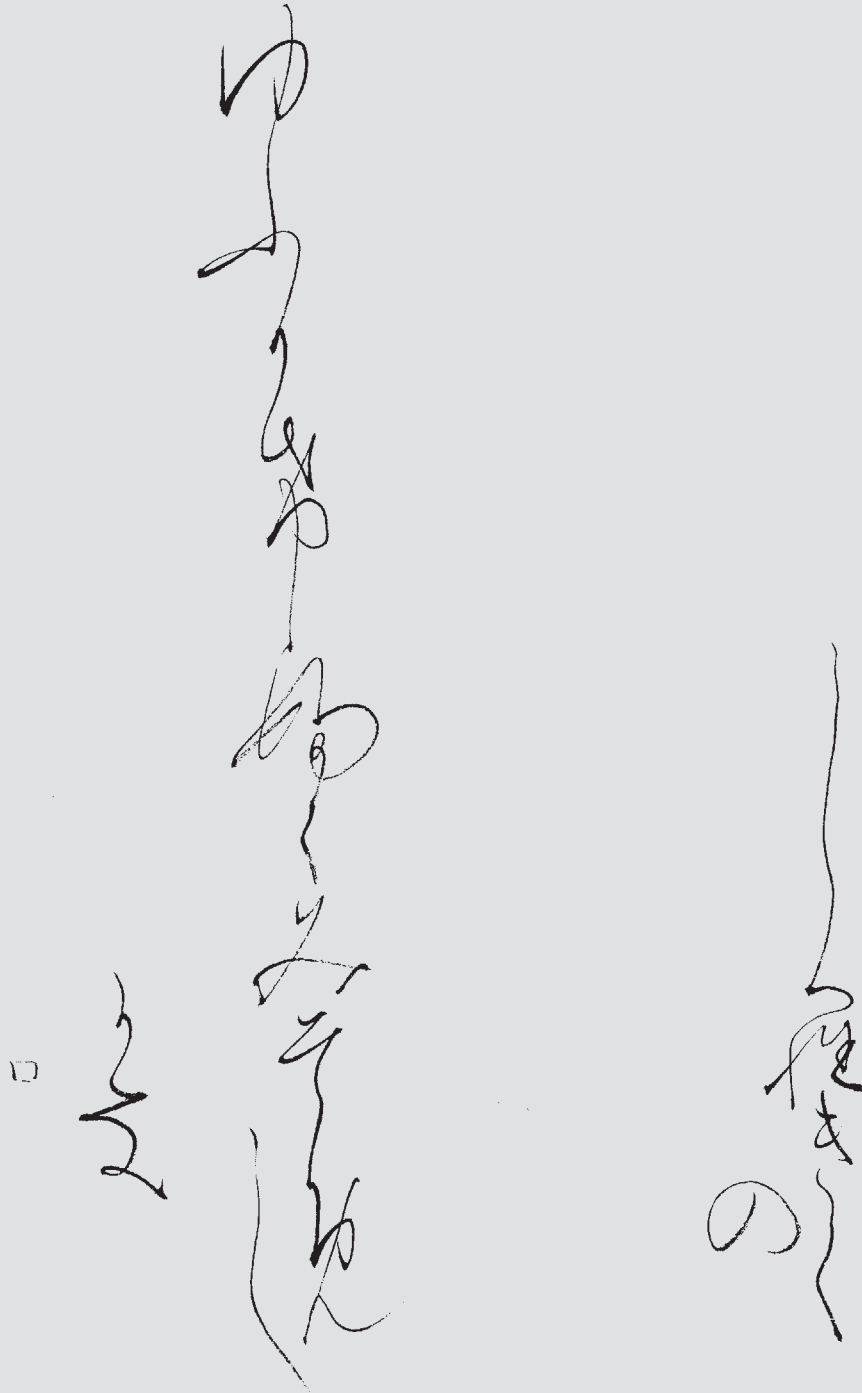
浮 乘 清 郷 先 生

（11月10日締切）

半紙かな（1級～8級）

しらぎくの夕影ふくみそめしかな（久保田万太郎）

支部名 級 姓 号（鉛筆可）



※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

※ちらし文字変換は自由

若月久美子先生

（11月10日締切）

実用文（準三段以上）

其の後お変わりございませぬか美術
の秋は樂の秋味賞の秋も終り
に近づきました昨年同様林檎と
葡萄狩を企画しました小都合
されお参加下さりませぬか 等々

支部名 氏 姓号

〈書風任意〉

其の後…の秋・行樂の秋…を企画しました…草々

塚田悠碩先生

(11月10日締切)

実用文（二段以下）

〈書風任意〉

私たちが何か事を成していく場合
信用が大きな力となる。然し信用は
一朝一夕に得られるものではなく誠実
な日常生活の中に培われるものだ

支部名 段級 姓号

和泉千泉先生

(11月10日締切)

細 字

弊宿思索	弊宿思索	弊宿思索	弊宿思索
研學著述	研學著述	研學著述	研學著述
創作	創作	創作	創作

支部
段
姓
号

※一級〜八級は草書まで。初段以上は隸書まで。

弊へい 宿しゆく
思し 索さく
さびれた宿。
考えもとめる。

研けん 学がく
学問を研究する。

名前は必ず楷書 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

硬筆（初段以上）

本院定型用紙一枚に書く

まだあげ初めし前髪の林檎のもとに見え
しとき前にせしたる花櫛の花ある君と
思ひけりやとく白き手をのべて林檎
をわれにあたりしは薄紅の秋の実に人こゑ
初めしはぐめなり 藤村 初恋 よう

支部名 段 姓 号

青柳江雲先生

(11月10日締切)

硬筆（4級以下）

支部名

級

姓

号

神無月には、全国の神々が、出雲大社に
集まり、縁結びの相談をするそうだ。

本院定型用紙・たて半分に書く

齊藤 翡翠 流 先生

硬筆（1級～3級）

支部名

級

姓

号

神無月には、全国の神々が、出雲大社に
集まり、縁結びの相談をするそうだ。

齊藤 翡翠 流 先生

(11月10日締切)

中2用

支部名

菊花羹
石頃

段級

名

前

田邊玉翠先生

中3用

支部名

秋の甚
術祭

段級

名

前

田邊玉翠先生

(11月10日締切)

小6用

支部名

の伝

段級

名

前

技統

朝平霞山先生

中1用

支部名

散木

段級

名

前

るの葉

田邊玉翠先生

(11月10日締切)

小4用

支部名

段級

名前

朝平霞山先生

小5用

支部名

段級

名前

朝平霞山先生

(11月10日締切)

小2用

支部名

段級

名
前

主幹 菅野翠濤

小3用

支部名

段級

名
前

主幹 菅野翠濤

(11月10日締切)

中1

日本の四季では、秋が
一番美しく感じられる。

中2

十月は、暑くも寒くも
ない過ごしやすい季節。

中3

星空を見上げて、広大
な宇宙の神秘を思う。

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

きん

中1～中3

青柳江雲先生

(11月10日締切)

小1・幼年

ひとつない。
そらは、あおく、くも

小1～小3

小 2

白いくもが、あきの空
にうかんでいた。

齊 藤 翡 流 先生

小 3

夕日が西の山を赤くそ
めてしずみます。

小 4

山の木が色づき、秋も
いよいよ深まった。

小4～小6

小 5

昨夜の雨が残した水た
まりに、光がきらめく。

若 月 久美子

小 6

晴れ後くもり。秋の空
は変わりやすい気候だ。

先生

(11月10日締切)

小学部小筆課題

支部名

段級

名

前

赤とんぼの
大行進

主幹 菅野翠濤

中学部かな課題

支部名

段級

名

前

ふるさと
は
雲の先がかり
秋の
くれ

船久保 棠苑 先生

季語Ⅱ「秋の暮」
秋の夕暮、ふと故郷のことが思われる。空に漂う雲のはるか先にふるさとの地があるのだ、の意。

(11月10日締切)